

Okayama Research Park Incubation Center

ORIC NEWS

翔飛

ひしろう

入居者紹介



私たちは以下のような IT サービスの提供を通じて
生産者の 6 次産業化をサポートします。

各種コンテンツ制作

人を惹きつける販促用のコンテンツで、こだわりの産品を積極的にアピールしましょう！

データベース開発

御社が築いた独自のワークフローを尊重する、オーダメイドのデータベースで業務の効率化を！

ネットショップ運営代行

ネットショップの販売代行を行っています。繁忙期は収穫と出荷に専念してください！

講師派遣

経営に IT を活用したい方、専門家の意見を聞いてみたいという方は、ぜひご相談ください！



詳細は 6 ページをご覧ください

一本号の主な内容

巻頭言

研修・交流会活動

入居者の活動・トピックス

新入居者紹介

入居者紹介

イベント案内

No.53 (2016. 7)

「経営カレンダー」

公益財団法人岡山県産業振興財団
理事長 三宅 昇



偉大な先人や優秀な経営者の言葉を集めて、カレンダーを作った。

10数年にわたり、ある時は厚かましく会社を訪問し社長から直に伺った名言、またあるときは講演の際、涙をこぼしながら聞かせていただいた逸話など。珠玉の言葉たちをカレンダーにしたら、こうなったというもの。

未来の名社長の役に立つかどうかはわからないが、ものは試し、7月分のカレンダーをご披露しよう。

1日	うつむけば 言い訳よりも 美しき
2日	感心されても銭にはならん。感動されんといけん。
3日	自分自身の物差しが必要だ。断固として揺るぎのない基準を持って生きて行きなさい。誰かの物差しを借りてばかりではダメだ。
4日	あらゆる者が強みによって報酬を手にする。弱みによってではない。最初に問うべきは、我々の強みは何かである。
5日	大人になると何が楽しいのか分析してしまう。どんどん拘ってしまう。本当はただ楽しいだけなのに、理由を探してしまうから、自分を限定して、突き詰めて、追い詰めてしまう。
6日	人とのつながりや故郷に対する愛着も、幸せの重要な要素だ。
7日	制度を変えるには、多くの制度を一度に転換する必要がある。
8日	Management by Wandering Around ぶらぶらしながらマネジメントしなさい。
9日	報告が上がってこなかったら、部下のところに行け。
10日	強く願う・願い続ける。方法を学ぶ・考える・工夫する。やってみる・試してみる・失敗を活かす。自己観照する。習慣にする。反省する・改善する。唱える。繰り返す・成功するまでやめない。
11日	もしあなたが誰かに期待した微笑みを得られなかったら、不愉快になる代わりに、あなたから微笑みかけてごらんください。微笑みを忘れたその人ほど、あなたからの微笑みを必要としている人はいないのだから。
12日	馬や妻を飼い慣らすことをマネジメントという。人を意のままに動かすことはそれほど難しい。
13日	世界一の製品は、世界一の環境から生まれる。
14日	「より良い暮らしの指標」の11の構成要素 住宅、雇用、社会とのつながり、教育、環境、ガバナンス、医療、生活の満足度、安全、ワークライフバランス、収入。
15日	BMWのエンジン音がうるさいのは欠点ではない。これが価値である。ノイズではなくサウンドだ。
16日	喫茶店の価値は、珈琲ではなくて、ゆっくりと寛げること。
17日	幸福は好奇心から生まれる。1日10回感動する。それが秘訣だ。
18日	アイスクリームは溶けないうちに楽しむべきだ。
19日	現場を強くしたければ、コミュニケーションに命を懸ける。
20日	まあ、もうちょっと、行ってみようやないか。
21日	ものづくりは、ハードだけでなく、それを動かすソフト、さらにそこから生まれるサービスの3つのパッケージから出来ている。
22日	いまだかつて誰からも褒められる一方の人もいなければ、そしられる一方の人もない。
23日	政治は情と勘。行政は理性と論理。
24日	事業で成功する唯一の方法は、利益を上げながらニーズを満たすことだ。利益を上げずにニーズを満たすのは慈善事業であり、ニーズを満たさずに利益を上げるのは詐欺だ。
25日	1人だけでは車1台も作れないが、1人で自動車会社を作れば100万台も作れる。やりたいこと、夢を実現するために人を動かすのが経営である。
26日	儲けているのは6~7人程度の部門。10人以上になると大企業病に罹る。
27日	繰り返し学び、友と学問について話し、人から評価されずとも怒らない。
28日	収穫の法則はたった1つ。蒔いたものしか刈り取ることとはできない。
29日	現場主義とは、自分で実感すること。それを自分の言葉で表現すること。
30日	良い社会人を作るためには、責任を教えなければならない。
31日	商売が長続きする饅頭屋とは、みすばらしい身なりの客に最敬礼して応接する店。 お金がないのに饅頭を買ってくれる客を一番大事にせよ。

■ 平成28年4月度ORIC交流会

● 入居者紹介

「起業～ORICと共に3年、そして卒業までX年」 シームスブレインズ（株）

私立学校の校務処理システム「Siems」を主力商品とする同社の起業からの歩みと今後について田中代表取締役より説明がありました。起業前に26年間IT営業をしていた田中氏は、自身が取引を開拓した学校法人森教育学園（岡山学芸館高校）と開発した「Siems」を基盤に独立しました。それは失意の中での独立でしたが、現在94校で稼働、決算も連続黒字を続けています。



ORICを知ったのは県立図書館で開催された創業相談会でした。サポートを受け作成した審査会用事業計画書は銀行借入などでも高く評価されました。そして、経営計画は「目標」と「実績」の「差」を読み、手を打つ経営の本質で、計画通り行かないから「役に立つ」と考えているそうです。以上のサポートに加え、ORICについては静脈認証などの設備の充実や環境なども取引先の評価が高いとのことでした。

起業から3年、「Siems」導入校増加や平成26年度「おかやまIT経営力大賞」特別賞受賞などにより認知されつつも単一事業による弱みは否定できないため、新規事業として地域情報プラットフォーム「まいぶれ」事業参入を決定しました。“地域情報の問屋”と評価される「まいぶれ」は自分の関わる地域を“よく知る”に寄与しますので、同社が考える地域活性化に掛ける想いを実現する「お志事（田中氏の好きな表現）」として、地域に貢献できると考えているそうです。

一方で、地域貢献の理念を掲げるだけではやがて壁にぶつかることは承知しているとして、“利益がなければ生きられない、理念がなければ生きる価値がない”の思いを持ち、継続的な運営と成長を目指したい、と決意表明がありました。

■ 平成28年5月度ORIC交流会

● バーベキュー交流会

5月19日（木）、ORIC中庭で恒例の春のバーベキュー交流会を開催しました。今回は五月晴れ・ほぼ無風という近年稀にみる良い気候に恵まれました。開始定刻の少し前には、今や遅しと開会を待つ参加者が会場に集まりました。大野IMの乾杯の発声で午後5時15分に予定通り始まりました。今年は大人数58名の参加申し込みがあり加えて数名のお子様方も楽しいひと時に加わってくれ多彩な雰囲気での楽しい会になりました。バーベキューの会場は、入居者間、入居者と支援機関メンバー、支援機関の参加者間など普段とは異なる雰囲気での多くの出会いやコミュニケーションが図られて盛会でした。



用意した肉などの食材が順調に消化されたところで、閉会の時刻となり名残を惜しんでの終了となりました。

終了後は多くの参加者の方々の積極的なご協力により、極めてスムーズに後片づけを行うことが出来ました。スタッフ一同感謝しております。

●入居者紹介

「日本初の建設業界向けプレゼン支援サービス ネットモケイ」 (株) スーパーワークス

3D住宅・建築模型の提供で事業展開を図っている「株式会社スーパーワークス」の岩城代表取締役役に、事業内容をご紹介いただきました。

岩城社長は、昨年12月にこの会社を創業され、岡山県主催の「ビジネスプラン・コンテスト」で最優秀賞を獲得してORICに入居されました。もともと1級建築士である岩城社長としては、設計者として感じていた課題を解決するための起業でした。その課題とは、個人住宅の施主となる方が、打ち合わせを通じて工務店側から提供される図面（平面図や立面図）やパースから、その建物のイメージを掴むことが出来ないという点でした。これまでは、施主は建物が完成して初めて、こういうものだったのか、ということが具体的にわかるという具合でした。これは、トラブルの元で有り、施主側が安心して工務店に任せられない原因となっていました。



この会社は、工務店側がつくる図面を元に、その建物の3次元イメージを作成し、それをスマホやパソコンのブラウザで手軽に見ることができるようにしたシステムを提供します。これまでも3次元のCADなどで立体イメージを得ることは出来ましたが、専用の高価なCADソフトが必要であったり、CADソフトを動かすために高度な訓練が必要であったりと、非常にハードルが高く、施主である個人が対応できるものではありませんでした。岩城社長は、図面からの3次元イメージの作成と、それをスマホなどで見られるようにしたシステム作成、そのデータをメールで依頼元の工務店（さらに施主）に提供することで事業を組み立てています。

これにより、施主と工務店が建物のイメージを共有できて安心できることと、施主も家族や親族などからアドバイスを受けられて、よりよい設計に繋がるのがメリットとしてあげられます。また工務店側も、施主がより良く建物や内部のイメージを掴んでくるために、要望が初めからしっかりと出て、打ち合わせの回数も減るといったメリットが得られている、とのことでした。

また今後需要が増えると予想されるリフォームでも、このシステムでは、リフォームの施工前と施工後ボタンで切り替えて比較しながら見ることができるため、リフォームに対する施主の理解が進むとのことでした。

このようにこのシステムは、建築に素人である施主と施工責任を有する工務店側との情報格差を縮めて相互理解を深める優れたシステムと言えると思います。

●ORICセミナー

「意外とおいしい、厚生労働省系助成金」

(株) はた楽、社会保険労務士法人はた楽 代表取締役（代表社員） 佐藤 東 氏



株式会社はた楽と社会保険労務士法人はた楽の代表である、佐藤 東氏より掲題の話をしていただきました。

助成金の原資は雇用保険料であること、国の政策課題を反映するため変更が多いことなどの説明と、良い会社になり社員が喜ぶために助成金を利用してもらいたいと社会保険労務士の立場からの説明がありました。

利用にあたっての注意として、雇用保険料を納めている全ての事業所に受給の権利があり規模が小さい程メリットが大

きいこと、受給は着手前の計画提出と認定を受けたうえで助成金の対象となる制度・施策を完了しなければいけないなどと説明がありました。助成金の対象となる制度・施策を完了した後に受給申請となりますが、受給までには申請後数か月かかることも留意してほしいとのことでした。

助成対象となるテーマは、1. 処遇改善、2. 人材育成、3. 雇用、4. 福利厚生などとなっています。テーマごとに助成金の内容と受給を受ける時のポイントの説明がありました。

現在の政策課題であるパート従業員の処遇改善や介護離職を防ぐための助成金が注目を集めている、とのことでした。受給できる補助金はなにか、補助金の要件と各事業所（会社）の現状を見て検討してほしい、とのことでした。

入居者の活動トピックス

「バイオヨーロッパ スプリング2016」出展レポート ノマディックバイオサイエンス（株）

ORIC販路開拓支援金の活用実績をレポートして頂きました。

ORIC販路開拓支援金を活用して、平成28年4月4日～6日まで欧州展示商談会「バイオヨーロッパ スプリング2016 (Bio-Europe Spring 2016)」に参加しました。この展示商談会は、春と秋の年2回、欧州各国持ち回りで開催され、欧州だけでなく世界各国の製薬会社やバイオベンチャーが集結する製薬業界最大級の展示商談会です。今回はスウェーデン国ストックホルム市で開催されました。

弊社は、この展示商談にて、弊社の抗体医薬品精製用バイオ表面処理樹脂ベース「Byzen Pro」の周知を狙い、製薬会社の医薬品製造プロセスで採用されるのを目指して精力的に商談を行いました。参加各社ある程度の決定権を持つ担当者が来場しており、商談はスピード感をもって行われ、幾つかの製薬会社と具体的な商談に至ることができました。現在、帰国後のフォローアップに努めています。

海外展示商談会への参加は、多数の海外顧客と集中的に商談ができる非常に効率的な方法だと感じました。例えば、海外顧客を個々に訪問する場合、1週間の予定でも数社とアポイントメントを取るのが精一杯ですが、展示商談会の場合、2～3日間で30～40社とテーブルを挟んだ本格的な商談が可能です。この点で、展示商談会参加料を払ってでも、コストパフォーマンスが高いと考えられます。

今後も、定期的に海外展示商談会に出かけていく予定です。



新入居者紹介

第51回、52回入居審査会により、新たに下記2者の入居が決まりました。

入居者名	事業概要	所在地	分野
モウラ	・安価で使いやすいIR画像モジュールの開発	岡山市	ものづくり
ウィンゴー テクノロジー(株)	・機能性ポリマー『可溶性ポリイミド』に特化した製品の設計・開発・製造販売	岡山市	ものづくり

Info-design (インフォ・デザイン)

〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5303 ORIC 209号室
TEL : 0895-57-7031 / FAX : 0895-57-7036 / Mail : info@info-d.jp

事業内容

生産者と消費者を繋ぐITサービスの提供
<各種コンテンツ制作・データベース開発・ネットショップの販売代行・講師派遣>

生産者が抱えている問題

最近の農業従事者は農産物の生産だけでなく、加工品の開発、販売まで担うようになってきました。そこで、以下のような問題を抱える生産者様が増えています。

収穫時と出荷時の重量変動に関わる問題

農産物の多くは収穫してから出荷するまでに、水分が蒸発して軽くなります。これは、個数ではなく重量で出荷する農産品については、時間経過によって、売上損失が発生していることとなります。この差が案外大きいので、タイムロスが少なく在庫の出し入れが求められています。

加工品の開発と差別化の問題

他社と異なる、斬新な加工品を作り出すことは困難な状態になりつつあり「売り方」や「見せ方」という部分で差別化を図る必要性が高まっています。しかし、こういったノウハウを持ち合わせている生産者は稀で、競合他社が作った同類の加工品に埋もれてしまうのが現状です。

販路の増加による問題

従来通りの青果市場や取引先への出荷に加え、複数のネットショップ運営、道の駅などのリアル店舗への出店・・・といったように、生産者はここ数年で急激に販路が増加しました。良いことではありますが、在庫と顧客のコントロールが非常に難しくなっています。

季節要因の問題

農産品には旬があり、同一品種の農産品は年に数ヶ月しか出荷時期がありません。そのため、販促活動に関する試行錯誤は、年に一度しかできないのが実情です。地域を問わず、広いエリアに渡って生産者と販促に関するノウハウを共有しなければ、効率の良い販促活動を行うことが困難です。



これらの問題に対して私たちが提供できるサービス

私たちは愛媛県にて15年前に創業し、これまでに以下のような業務を手がけてきました。

- WEBサイト、印刷物のデザイン、動画作成などの「各種コンテンツの制作」
- 情報の5S活動を目指す「データベースの開発」
- 集客から顧客満足度の向上までサポートする「ネットショップの運営代行業務」
- ITに強い人材育成のお手伝いをする「講師派遣およびセミナーの開催」

これらのノウハウをもとに、生産者が抱えている問題の解決に取り組んでいます。

■ 平成28年度 岡山リサーチパーク一般公開「おもしろ体験でえ〜」

岡山県工業技術センター、(公財)岡山県産業振興財団、岡山大学産学官融合センター、岡山リサーチパークインキュベーションセンター、(一社)岡山県発明協会、(一社)システムエンジニアリング岡山、岡山県産業労働部産業振興課、が企画主催して、毎年夏休み初めに岡山リサーチパーク内にあるテクノサポート岡山と岡山県工業技術センターで開催されます。

本企画は青少年への科学技術の啓発と県民への岡山リサーチパークの紹介をその趣旨としており、

- i) 小中学生などの子供たちに、新技術の素晴らしさをアピールし、科学技術の重要性を認識してもらおう、
 - ii) 広く県民に岡山リサーチパークの存在をアピールし周知を図る、
 - iii) 参加者が体験し、発見し、感動する場を作る、
- を目的としております。

今年は「今年も来たぞ！科学の夏！」をキャッチフレーズに掲げ次の要領で実施いたします。是非ふるってご参加いただき夏休みの良い思い出の一つにしてください。

◆ 日時：平成28年7月22日（金）、23日（土） 10：00～16：00

◆ 場所：テクノサポート岡山／岡山県工業技術センター
（岡山市北区芳賀5301 岡山リサーチパーク内）

■ 第12回 岡山県しんきん合同ビジネス交流会

県内信用金庫、(株)日本政策金融公庫岡山支店、(公財)岡山県産業振興財団、(独行)中小企業基盤整備機構中国本部、信金中央金庫岡山支店、が合同で、『岡山の元気がここに集合！』をキャッチフレーズで開催されます。

毎回およそ400社の参加がある当交流会は、新たな取引先・ビジネスパートナーを探しているベンチャー企業や創業者の方々にとって絶好の商談会です。是非ご参加ください。

◆ 日時：平成28年9月14日（水） 10：00～15：55

◆ 場所：コンベックス岡山 大・中・小展示場
（岡山市北区大内田675）

- ◆ (1) 個別商談会（10：30～12：05）：参加企業間で商談相手を事前に組み合わせ、事前予約による強制お見合い方式3回実施。
- (2) フリー商談会（13：00～15：55）：出展企業に加えて事前に参加申し込みをした入場者の自由な商談会。

◆ 参加企業の種々の問題点を解決する為目的別相談コーナーを設置
産学官連携に関する相談コーナー、人材に関する相談コーナー等

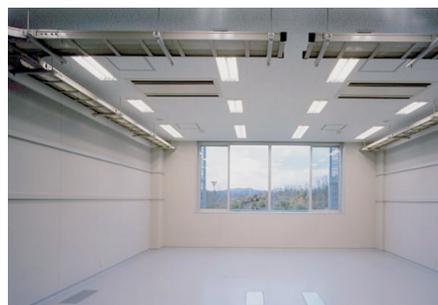
入居者 募集中!!

センターでは随時入居のご相談に応じています。
お気軽にお問い合わせください。

Tel 086-286-9116



研究室小



研究室大

創業・第二創業を希望する方への支援が充実!!

- ・毎月の賃料が半額になる制度（創業5年未満かつ入居後3年間）
- ・岡山県工業技術センターの設備使用料が半額になる制度（入居後3年間）
- ・低価格で顧問専門家へ相談できる制度 など

■ 施設使用料・空き室状況

(2016年7月現在)

施設区分	面積	使用料の月額	減額後の使用料※	部屋数	空き室数
研究室小	約 25 m ²	46,280 円	23,140 円	22	7
研究室大	約 50 m ²	90,510 円	45,255 円	28	7
試作開発室	約 100 m ²	180,000 円	90,000 円	6	0
創業準備室	5 m ² /ブース	5,000 円		6ブース	6ブース

※創業5年未満の企業及び個人は、入居後3年間は減額になる制度があります。

■ 次回募集

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。
次回は8月末までに事業計画書を提出された方を対象に、9月中に開催の予定です。
(創業準備室の募集は随時受付けています。)
詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.oric.ne.jp>

